

令和5年度 国本中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

（1）基本目標

人間尊重の精神を基盤に、やさしい心とたくましい気力・体力をもち、社会の発展に貢献できる人間を育成する。

（2）具体目標（具体的な生徒像など）

- ① 健康で意志の強い生徒（健康教育の推進）
- ② 自ら学び創造力のある生徒（自己教育力の育成）
- ③ 心情豊かで思いやりのある生徒（心の教育の推進）
- ④ 勤労を愛し実践力のある生徒（文化や伝統の継承と勤労精神の涵養）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

人権尊重の精神を基盤として、確かな学力、豊かな人間性、健康や体力など、変化の激しい社会を生きるために必要となる「生きる力」を確実に身に付けさせる指導に力を入れ、『生徒・職員が共に成長できる学校』を目指す。そのために、人間力の形成に向けて、全教育活動を通じて、「ほめて伸ばす指導（自己存在感・自己肯定感・自己有用感など自尊感情を育む指導）」の充実を図り、自信と誇りをもって生き生きと学校生活を送る生徒を育成していく。

また、こうした教育活動がより効果的に実践されるよう、学校における働き方改革を推進し、業務の効率化や労働時間の適正化を図る。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- （1）「生徒が明るく、いきいきと活動する学校」づくりに努める。
- （2）生徒理解に基づいた生徒指導の充実を努め、基本的な生活習慣と規範意識の育成を図る。
- （3）学習において、基礎・基本の定着を図るとともに、生徒を認め生かす授業の工夫に努める。
「とちぎっ子学力アッププロジェクト」「道徳教育の充実」「主体的・対話的で深い学び」への授業改善に努める。
（「宇都宮モデル」の活用）
- （4）教職員が課題を共有し、協働して教育活動に当たれる職場づくりに努める。
- （5）学校、家庭、地域の連携を深め特色ある学校づくりを推進する。
- （6）教職員一人一人の特性を生かした校務分掌を工夫することで、働き甲斐を大切にしながら、業務の効率化と働き改革を進める。

【国本地域学校園教育ビジョン】

「自ら学び心豊かで元気な国本っ子」～地域とともにある学校をめざして～

4 教育課程編成の方針

- （1）日本国憲法、改正教育基本法、学校教育法及び新中学校学習指導要領の関係法令、及び県教育行政基本方針、市教育委員会管理運営規則、市学校教育スタンダードの示すところに従い、本校教育課程を編成する。
- （2）学校経営方針のもと、教育課程のスリム化、重点化を図りつつ、教育目標の実現を図るために編成する。
- （3）地域や学校の実態を考慮し、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のバランスのとれた育成を通して「生きる力」の醸成を目指して、「特色ある学校づくり」の基盤となるように編成する。
- （4）全教職員の参画と教師同士の連携・協力によって編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

（1）学校運営

◇教育目標の達成を目指すチーム学校づくり

- ・生徒や家庭、地域、関係機関等と学校教育目標や学校経営の理念を共有し、その達成に向かう集団づくりの推進に努める。
- ・情報発信を積極的に行い、地域とのかかわりを深める工夫をすることで、地域の中核として愛される、開かれた学校づくりの推進に努める。

（2）学習指導

◇宇都宮モデルに基づく授業改善を通し、学びに向かう力の育成と学力の向上を目指す

- ・学力向上プログラムを実施することで、基礎・基本の確実な定着を目指し、家庭学習の充実を図る。
- ・各種学習調査結果の分析をもとに、宇都宮モデルに基づく授業改善の推進を行う。
- ・E S Dの理念を生かした学習活動を推進する。

(3) 生徒指導

◇生徒一人一人の主体性を高める指導の充実を図る

- ・自分の力でやり遂げる体験や場の充実を図る。
- ・生徒との適切な関わりにより信頼関係を構築し、状況に応じた声かけをすることで、活動の意欲を高め、粘り強く取り組ませる。
- ・生徒のよさを認め、ほめて伸ばす指導を強化することで、生徒が自分のよさに気づき、自信を持たせる。
- ・困難を克服し、不安から立ち上がる力（レジリエンス）を育成するため、ソーシャルスキルの習得に係る取組みを教育課程に位置づける。

(4) 健康（保健安全・食育）・体力

◇自ら健康・体力の向上に努め、心身ともに健康でたくましい生徒の育成を図る

- ・基礎体力の定着と個々の発達段階に応じた体力向上を図る。
- ・生徒の自主的な学習活動・啓発活動による食を含めた生活習慣の確立を図る。

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所には下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	A 1 生徒は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者の肯定的回答 80%以上	①学力向上プログラムを実施 ②「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善（宇都宮モデルに基づく授業改善の推進） ③朝の学習の実施で基礎・基本の定着を目指す ④家庭学習の充実（クロームブックの活用）	A	【達成状況】 【次年度の方針】
1- (2) 豊かな心を育む教育の推進	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者、地域住民の肯定的回答80%以上	①道徳教育、人権教育の充実（学年ごとの教材研究の実施） ②学校行事や各種体験活動における望ましい人間関係の構築	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者の肯定的回答 80%以上	①生徒会を中心とした規範意識向上のための取組の充実 ②道徳の授業の充実	B	【達成状況】 【次年度の方針】
1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者、地域住民の肯定的回答 80%以上	①適切な健康診断の実施と事後指導の徹底 ②基本的な生活習慣や感染症予防の保健教育の推進 ③交通安全教室や避難訓練を通じた安全指導の充実	B	【達成状況】 【次年度の方針】
1- (4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A 5 生徒は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒の肯定的回答 80%以上	①学習や生活において、計画的・継続的に取り組む習慣の定着を図る ②学習や部活動において、困難なことにも根気強く取り組もうとする態度を育む	B	【達成状況】 【次年度の方針】

2- (1) グローバル 社会に主体的 に向き合い、郷土愛 を醸成する 教育の推進	A 6 生徒は、英語を使ってコ ミュニケーションしてい る。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒の肯定的回答 80%以上	①英語の授業における会話活動の充 実 ②ALT の積極的活用	A	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 7 児童生徒は、宇都宮の良 さを知っている。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者、の肯定的 回答 80%以上	①社会科や総合的な学習の時間 (宇 都宮学) における郷土学習の充実 ②道徳における郷土愛の涵養	A	【達成状況】 【次年度の方針】
2- (2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A 8 生徒は、デジタル機器や 図書等を学習に活用して いる。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者の肯定的回 答 80%以上	①ICT 機器や図書館を活用した授業 の展開促進 ②図書選定委員会を中心とした、計 画的な図書の補充	A	【達成状況】 【次年度の方針】
2- (3) 持続可能な 社会の実現 に向けた担 い手を育む 教育の推進	A 9 生徒は、「持続可能な社 会」について、関心をもっ ている。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒の肯定的回答 70%以上	①社会科や理科、技術・家庭科、総合 的な学習の時間 (宇都宮学) におけ る環境教育の推進 ②生徒会を中心とした SDG' s 啓発 活動の推進	A	【達成状況】 【次年度の方針】
3- (1) インクルー シブ教育シ ステムの充 実に向けた 特別支援教 育の推進	A10 教職員は、特別な支援を 必要とする生徒の実態に 応じて、適切な支援をして いる。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以 上	①特別支援教育の推進 ②校内支援委員会や職員研修の充実 ③教育相談部会の活性化	B	【達成状況】 【次年度の方針】
3- (2) いじめ・不 登校対策の 充実	A11 教職員は、いじめが許さ れない行為であることを 指導している。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者、地域住民 の肯定的回答 80%以上	①アンケートによる実態把握 ②教育相談の充実 ③生活委員によるいじめ撲滅集会の 実施と啓発リボンの制作	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A12 教職員は、不登校を生ま ない学級経営を行っている。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者の肯定的回 答 80%以上	①自己存在感や自己有用感が感じら れる学級経営の工夫 ②特別活動や教育相談等による温か い学級集団づくりや生徒理解 ③SC、MS、小学校、外部機関との 連携	B	【達成状況】 【次年度の方針】
3- (3) 外国人児童 生徒等への 適応支援の 充実	A13 学校は、一人一人が大切 にされ、活気があり、明る くいきいきとした雰囲気 である。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者、地域住民 の肯定的回答 80%以上	①学校行事や体験活動の充実 ②諸検査を基にした事例研究 ③スタンダードダイアリーを活用し た生徒理解と支援の充実	B	【達成状況】 【次年度の方針】
3- (4) 多様な教育 的ニーズへ の対応の強 化				
4- (1) 教職員の資 質・能力の 向上	A14 教職員は、分かる授業 や生徒にきめ細かな指導 を行い、学力向上を図っ ている。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者の肯定的回 答 80%以上	①学力向上プログラムの実践 ②教師同士の授業公開による校内研 修の充実 ③宇都宮モデルに基づく授業改善の 推進 (めあての提示と学習の振り 返りの実践) ④英語、数学における T・T や習熟度 別学習の充実	A	【達成状況】 【次年度の方針】

4- (2) チーム力の 向上	A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定回答80%以上	①校務分掌の見直しと改善 ②校務に関わる組織体制の整備と強化 ③個々の教員の専門性や能力を生かすための対応	B	【達成状況】 【次年度の方針】
4- (3) 学校における働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定回答80%以上	①業務内容の見直しと改善 ②出勤時間の管理と指導・助言 ③デジタル機器の活用 ④リフレッシュデイ設定による定時退勤の推奨	B	【達成状況】 【次年度の方針】
5- (1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者、地域住民の肯定的回答80%以上	①小中一貫教育全体計画の見直し ②乗り入れ授業 ③合同あいさつ運動 ④小6の進学先訪問 ⑤小中一貫各部会	B	【達成状況】 【次年度の方針】
5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者、地域住民の肯定的回答80%以上	①メール配信・HP活用等による積極的な情報発信による家庭との連携強化 ②地域学校園との情報交換や活動内容の連携と実践	B	【達成状況】 【次年度の方針】
5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進				
6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 ⇒教職員、保護者、地域住民の肯定的回答80%以上	①毎月の安全点検 ②点検後の対策、修繕、報告の充実 ③美化委員による教室環境整備の推進	B	【達成状況】 【次年度の方針】
6- (2) 学校のデジタル化推進	A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答80%以上	①ICT 機器や図書館を積極的に活用した授業の展開促進 ②効果的な活用法に関する職員研修の充実	B	【達成状況】 【次年度の方針】
小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B1 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者、地域住民の肯定的回答80%以上	①学校や地域学校園の「あいさつ運動」の推進 ②授業や部活動等、学校教育全般を通じた気持ちのよいあいさつの励行	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	B2 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者、地域住民の肯定的回答80%以上	①生徒会を中心とした規範意識向上のための取組の充実 ②道徳の授業の充実	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	B3 学校行事やボランティア活動等を通して、地域の人や保護者と生徒が交流する機会がある。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者、地域住民の肯定的回答80%以上	①地域協議会との交流（茶摘み製茶等） ②地域未来会議の実施 ③親子奉仕作業の実施 ④KLCの活動 ④くにもと祭りへの参加	B	【達成状況】 【次年度の方針】

	<p>B 4 生徒は、家庭学習に進んで取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①各教科の授業の振り返りにて、家庭学習のポイントを教授 ②家庭学習への取組を記録させる ③保護者への周知・啓発</p>	A	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>B 5 児童（生徒）は、自分の体力向上を意識して生活している。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①体育授業時の運動時間の確保 ②昼休み時の外遊びの推奨</p>	A	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
		.		

【総合的な評価】

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。